

調査研究報告 研修講座における教育クラウドの活用にもつて（調査研究Bチーム）

調査研究の目的

本年度当初の教育現場では、教育クラウドを「どのように活用したらよいか分からない」「活用することによるメリットが分からない」「機器やアプリを活用するための、研修の時間がない」など、戸惑いの声が聞かれました。そこで、当センター研修講座を受講された先生方の「私も授業でやってみよう」という意欲につながればと考え、講座を受講された先生方に教育クラウドの価値や有効性を実感してもらうには、研修講座でどのように取り入れればよいかを調査研究の目的としました。

まずは講座を担当する専門主事が研修

教科等教育研修を担当する専門主事は、基本的な教育クラウドの使い方から研究を始めました。さらに、「研修講座で教育クラウドをどのように使えばよいか?」「こんな使い方はできないだろうか?」という講座担当者の疑問や願いを受け、使い方を探り、実際に研修講座で用いてきました。そして、その様子を互いに紹介し、成果や課題を共有することで、研修講座での使い方について検討を重ねてきました。



教科等教育研修のうち

60講座で教育クラウドを活用⇒974名の受講された先生方が体験

研修講座で使ったツールとその活用例

表計算 (googleスプレッドシートなど)

- 自己紹介、参加の目的、自分の取組、課題などを共有
- 発電量を設定し、適切なエネルギーミックスをグループで算出（技術分野）
- ネットショッピングの模擬体験の結果を共同編集でまとめ、発表（家庭分野）

文書作成 (googleドキュメントなど)

- 学習指導案を共同で作成（国語）

付箋 (googleジャムボードなど)

- 感想や疑問点の集約、共有、整理
- 小・中・高の接続において大切なことを入力し、共有（理科）
- 鑑賞資料の絵の解説を共同編集で作成（図工・美術）
- 新聞活用の場面や方法について分類（総合）

ドライブ

- (googleドライブなど クラウド上の保存場所)
- テキスト配付、資料共有
- 成果物の閲覧（理科）

アンケート (googleフォームなど)

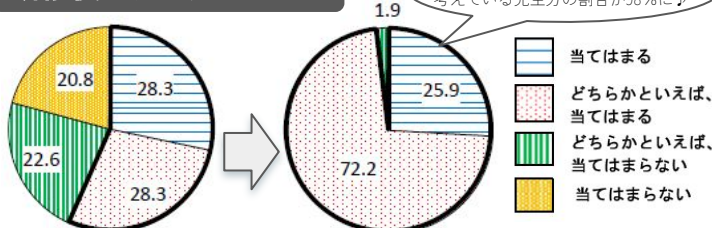
- 講座のはじめに受講目的等を入力
- 受講者のレディネス把握・意識調査
- 研修講座のふりかえり
- 曲の第一印象を集約し、グラフやテキストマイニングで傾向を捉える（音楽）
- フォームによる*CBT問題の体験（英語）

*CBT: Computer Based Testing

プレゼンテーション (googleスライドなど)

- 共同編集で自己紹介を作成し、共有
- 単元構想・学習指導案（略案）の作成と共有（算数・数学、社会）
- 製作記録を作成し、自己評価・相互評価に活用（家庭分野）
- 実践例を共同編集で集約し、共有（社会、小学校プログラミング）
- 知識・技能、思考・判断・表現を評価する問題の作成と共有（英語）
- デザインマンホールのアイデアを共同編集して検討（図工・美術）

研修後のアンケートから



受講前に教育クラウドを使用した経験がある

今後、教育クラウドを積極的に使用していきたい

受講者の声

アンケートツールや付箋ツールなど便利だなと思いました。

活用方法によって可能性は無限大だと感じました。

使ってみると、使い方も分かりやすく、楽しく体験することができました。

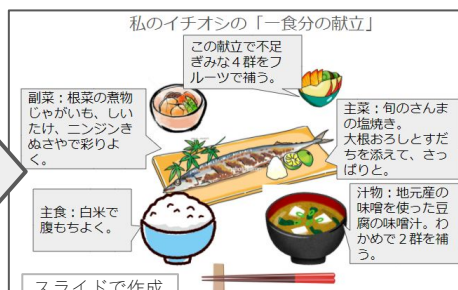
授業の中での効果的な活用が大切だと感じました。

帰校後の活用例

研修講座でgoogleスライドを使って共同編集することに「ワクワク」を感じたT先生は、題材「一食分の献立づくり」のまとめの場面で、生徒が作成する献立の紹介をこれまでの手描きから、googleスライドを使って既成の画像を利用する方法に変えてみました。すると、「イラストを描く時間が短縮できた」「献立の工夫のポイントについてより詳細に記述できた」という成果がありました。また、生徒が仲間の編集しているページを閲覧して自分のまとめの参考にする姿が見られたり、先生がgoogleクラスルームを利用してデータを配付・回収したことにより、課題の提出状況や進捗状況を把握できたりしたそうです。



手描きのイラスト



スライドで作成

まとめ

研修講座でクラウドを体験してみることで、授業でも使ってみよう、と思われた先生方がたくさんいらっしゃいました。また、講座担当者も、講座での使い方や授業アイデアを考えることで、クラウドの有用性に気付くことができました。

今年度は、まず「クラウドを使ってみること」に重点を置いて研究を進めてきました。今後は、講座や授業で使ってみて明らかになってきた課題をふまえ、子供たちのよりよい学びにつながるようなクラウドの使い方について研究を進め、授業改善につながる研修講座の運営につとめてまいります。